



# CDM2 Kitting Tool マニュアル

この度は CDM2 Kitting Tool (以下、本ソフトウェア) をご購入いただき誠にありがとうございます。このマニュアルでは本ソフトウェアの導入から使用方法までを説明しています。本ソフトウェアを正しくご利用いただくために、使用開始前に、必ずこのマニュアルを必ずお読みください。

## 1 ソフトウェア使用許諾契約書

本契約は、お客様（以下「お客様」とします）とハギワラソリューションズ株式会社（以下「弊社」とします）との間で弊社がお客様へ提供するソフトウェア（以下「許諾ソフトウェア」とします）の使用権許諾に関して次のように条件を定めます。

弊社は、お客様に対して、以下の条件に従って許諾ソフトウェアの使用を許諾いたします。お客様は、本契約書の内容をしっかりとお読みになり、本契約書の内容に同意できる場合に限り、お客様の責任で許諾ソフトウェアを使用してください。許諾ソフトウェアを使用することによって、お客様は本契約の各条項に同意したものとみなされます。本契約の各条項に同意されない場合、弊社はお客様に対し、許諾ソフトウェアのご使用を許諾できません。

### 第1条（総則）

許諾ソフトウェアは、日本国内外の著作権及びその他知的財産権に関する諸法令及び諸条約によって保護されています。許諾ソフトウェアは、本契約の条件に従い弊社からお客様に対して使用許諾されるもので、許諾ソフトウェアの著作権等の知的財産権は弊社に帰属し、お客様に移転いたしません。

## 第2条（使用権）

1. 弊社は、許諾ソフトウェアの非独占的な使用権をお客様に許諾します。
2. 本契約によって生ずる許諾ソフトウェアの使用権とは、お客様が取得または購入された許諾ソフトウェアがインストールされている電子機器上において、許諾ソフトウェアをお客様の機器等に対して使用する権利をいいます。
3. お客様は、許諾ソフトウェアの全部又は一部を複製、複写、並びに、これに対する修正、追加等の改変をすることができません。

## 第3条（権利の制限）

1. お客様は、許諾ソフトウェアを再使用許諾、譲渡、貸与又はリースその他の方法で第三者に使用させてはならないものとします。
2. お客様は、許諾ソフトウェアを用いて、弊社又は第三者の著作権等の権利を侵害する行為を行ってはならないものとします。
3. お客様は、許諾ソフトウェアに関しリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。
4. お客様は、本契約に基づいて、許諾ソフトウェアがインストールされている電子機器と一体としてのみお客様の許諾ソフトウェアに関する権利の全てを、譲受人が本契約の条項に同意することを条件に譲渡することができます。但しその場合、お客様は許諾ソフトウェアの複製物を保有することはできず、許諾ソフトウェアの一切（全ての構成部分、媒体、電子文書及び本契約書を含みます）を譲渡しなければなりません。

## 第4条（許諾ソフトウェアの権利）

許諾ソフトウェアに関する著作権等一切の権利は、弊社または、本契約に基づきお客様に対して使用許諾を行うための権利を弊社に認めた原権利者（以下原権利者としてします）に帰属するものとし、お客様は許諾ソフトウェアに関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

## 第5条（責任の範囲）

1. 弊社及び原権利者は、第6条2項に定義するアップデートデータが正常にインストールできることを保証いたしません。また、弊社及び原権利者は、当該アップデートデータのインストールによってお客様に損害が発生しないことを保証いたしません。
2. 弊社及び原権利者は、許諾ソフトウェアにエラー、バグ等の不具合がないこと、若しくは許諾ソフトウェアが中断なく稼動すること又は許諾ソフトウェアの使用がお客様及び第三者に損害を与えないことを保証しません。また、弊社及び原権利者は、許諾ソフトウェアが第三者の知的財産権を侵害していないことを保証いたしません。
3. 許諾ソフトウェアの稼動が依存する、許諾ソフトウェア以外の製品、ソフトウェア又はネットワークサービス（第三者が提供する場合に限られず、弊社又は原権利者が提供する場合も含みます）は、当該ソフトウェア又はネットワークサービスの提供者の判断で中止又は中断する場合があります。弊社及び原権利者は、許諾ソフトウェアの稼動が依存するこれらの製品、ソフトウェア又はネットワークサービスが中断なく正常に作動すること及び将来に亘って正常に稼動することを保証いたしません。
4. お客様に対する弊社及び原権利者の損害賠償責任は、当該損害が弊社又は原権利者の故意又は重過失による場合を除きいかなる場合にも、お客様に直接且つ現実生じた通常の損害に限定され且つお客様が証明することのできる許諾ソフトウェアの購入代金を上限とします。
5. 弊社又は原権利者は、債務不履行及び不法行為等の理由の如何にかかわらず、如何なる場合においても、お客様に生

じた逸失利益、結果的損害、間接損害、若しくは、データ消失及び破損における損害については、一切賠償する責を負わないものとする。

6. 弊社は、弊社ウェブページにて定めるお問い合わせ窓口（許諾ソフトウェア購入ページからリンクしてご確認ください。）に限り、お客様が弊社から使用許諾を受けた許諾ソフトウェアに関する技術的サポートを提供します。但し、弊社は、お客様の同意を得ることなく、当該窓口の受付時間及び当該サポートの提供の有無について随時変更することができるものとします。なお、弊社は、お客様との間で、別途契約を締結しないかぎり、当該サポートをお客様に提供及び継続する義務を一切負うことはありません。

#### 第6条（著作権保護及び自動アップデート）

1. お客様は、許諾ソフトウェアの使用に際し、日本国内外の著作権及びその他知的財産権に関する諸法令及び諸条約に従うものとします。
2. お客様は、弊社又は弊社の指定する第三者がウェブ上に、許諾ソフトウェアのセキュリティ機能の向上、エラーの修正、アップデート機能の向上等の目的で許諾ソフトウェアが適宜にアップデートデータ（以下「アップデートデータ」とします）を公開する場合は、アップデートデータ公開後 90 日以内に許諾ソフトウェアをアップデートしなければなりません。また、お客様は、アップデートデータ公開後 90 日を経過した場合は、旧許諾ソフトウェアを、アップデートをする目的以外で使用することができません。お客様は、(i) 当該許諾ソフトウェアのアップデートに伴い、許諾ソフトウェアの機能が追加、変更又は削除されることがあること、及び(ii) アップデートされた許諾ソフトウェアについても本契約が適用されることに同意するものとします。

#### 第7条（契約の解約）

1. 弊社は、お客様が本契約に定める条項に違反した場合、直ちに本契約を解約することができるものとします。
2. 前項の規定により本契約が終了した場合、お客様は契約の終了した日から 2 週間以内に許諾ソフトウェアの全てを廃棄するか、弊社に対して返還するものとします。お客様が許諾ソフトウェアを廃棄した場合、直ちにその旨を証明する文書を弊社に差し入れるものとします。
3. 本条 1 項の規定により本契約が終了した場合といえども、第 4 条、第 5 条、第 7 条第 2 項及び第 3 項並びに第 8 条第 1 項及び第 3 項乃至第 5 項の規定は有効に存続するものとします。

#### 第8条（その他）

1. 本契約は、日本国法に準拠するものとします。
2. お客様は、許諾ソフトウェアを国外に持ち出して使用する場合、適用ある条例、法律、輸出管理規制、命令に従うものとします。
3. 本契約に関連する一切の紛争については、弊社本店所在地の地方裁判所または簡易裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。
4. 本契約の一部条項が法令によって無効となった場合でも、当該条項は法令で有効と認められる範囲で依然として有効に存続するものとします。
5. 本契約に定めなき事項又は本契約の解釈に疑義を生じた場合は、お客様及び弊社は誠意をもって協議し、解決するものとします。

## 2 同梱品の確認

本ソフトウェアのパッケージには、次のものが含まれます。はじめに、すべてのものが揃っているかご確認ください。万一、不足品がありましたら、ご購入の販売店または弊社までお知らせください。

<input type="checkbox"/> CD-ROM(CDM2 Kitting Tool 同封)	×1 枚
<input type="checkbox"/> シリアル番号用紙	×1 枚

本 CD-ROM 内には次のソフトウェアが格納されております。

☐ CDM2 Kitting Tool

## 3 本ソフトウェアについて

本ソフトウェアは、大量の CD Memory2 へ ISO ファイル、UDF ファイルを書き込むための管理者様用ソフトウェアです。

### 本ソフトウェアでできること



**最大 16 台同時データ/設定書き込み。書き込み時間短縮と作業工数を減らします。**

CD Memory2 へ 16 台同時にデータ/設定書き込みが可能です。

同時書き込みにより、お客様の作業時間短縮と工数を減らします。

**重要：USB 3.0 ホストへ接続し使用する場合、安定認識・安定動作を考慮し、最大 4 台までを推奨と致します。**

- ※ 16 台同時書き込み推奨。同時に実行する台数が多いほど、一台辺りに掛かる時間が短縮されます。
- ※ PC のチップセット仕様によって、USB メモリが 16 台認識できない場合があります。  
Intel 製 USB3.0 ホストで最大 14 台に認識制限されていることを確認しております。
- ※ USB メモリの最大認識数は、マイコンコンピュータのドライブレター (C～Z) に割り当てることができる数に依存します。よってドライブレターの空きが 5 つしかない場合、5 台に対してのみ実行できます。
- ※ USB3.0 ホストの場合、動作が安定しない場合がございます。その場合は USB メモリの台数を減らし、実行をしてください。



### CD-ROM 領域へ ISO/UDF ファイルを書き込む機能

CD Memory2 の CD-ROM 領域へ指定した ISO/UDF ファイルを書き込むことができます。

書き込み後にデータ比較する・しないを選択することも可能です。処理時間を短縮したい場合にご利用ください。



### データ再書き込み禁止機能

CDM2 Writer や CDM2 Kitting Tool のお客様であれば、CD Memory2 へ何度でも ISO/UDF ファイルを書き込むことができます。

このデータ再書き込み禁止設定をすることにより、CDM2 Writer/CDM2 Kitting Tool を使用してもデータ書き込みができない CD Memory2 を作成することができます。

如何なるユーザーにもデータを変更させたく無い場合にご使用ください。

**注意：弊社でも再度書き込みを有効にすることはできませんので、ご注意ください。**



### USB Vendor Name/USB Product Name 変更機能

USB メモリの Vendor Name/Product Name を変更することができます。

お客様の会社名、製品名を設定ください。

VendorName は半角英数字 1?8 文字、Product Name は半角英数字 1~16 文字で設定できます。

Windows の場合、USB メモリのドライバインストール時に本内容が表示されます



※USB Vendor Name：HAGITECH/ USB Product Name：USBMemoryABCDEFGH 設定時の場合。

### 書き込み結果のログ出力機能

書き込み結果のログを CSV ファイルで出力します。出荷後のデバイス管理にご使用いただけます。

出力される主なログ情報は以下になります。

項目	内容
結果	正常に成功したか、失敗したかの結果
実行時刻	書き込み処理を実施した日時
USB シリアル	USB メモリの USB シリアル番号
USB VID,PID	USB メモリの USB VID,USB PID
CD-ROM 領域書き込みファイル名	USB メモリの CD-ROM 領域へ書き込んだ ISO/UDF ファイル名
各種設定事項	設定ファイルの各種設定値

## こんなお客様におすすめ

### ■データ書き込み時間の短縮を行いたいお客様

お客様の手元でデータ/設定書き込みを書き込む場合、1台1台書き込みを実施すると非常に時間が掛かります。  
またどのUSBメモリにデータを書いたかなど履歴も残りません。  
この様なお客様の”手間”を無くすことが本ソフトウェアでは可能です。



CDM2 Kitting Tool なら最大16台同時書き込み

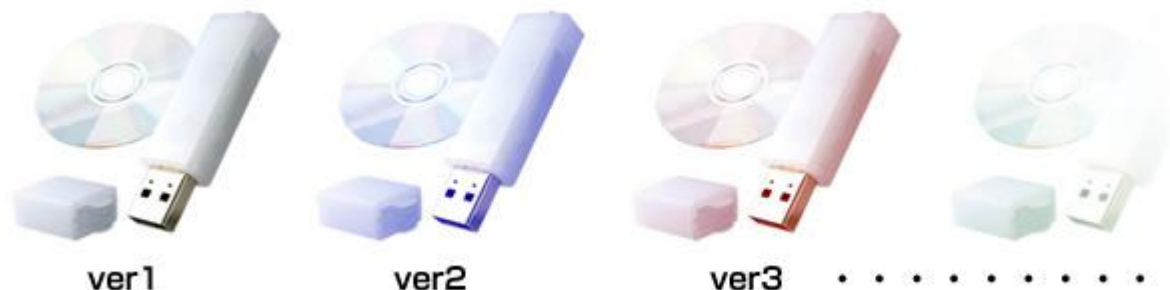
### ■社外へデータを持ち出せないお客様

USBメモリへ書き込むデータが社外に出せない機密情報の場合、弊社が書き込み(有償)をお受けすることができません。  
その場合、お客様自身でデータ書き込みをすることが必要になります。  
本ソフトウェアをご使用されれば、機密情報を守りながら、USBメモリへのデータ書き込みが可能です。



### ■頻繁にデータの更新がある、異なるデータ書き込みがあるお客様

USBメモリー出荷後、頻繁にデータ更新がある製品の場合、お客様自身でデータ更新の実施をされるケースがあります。  
また一台一台異なるデータ書き込みを実施する必要がある製品もございます。  
本ソフトウェアはそのようなケースに対応することができ、お客様の工数低減を致します。



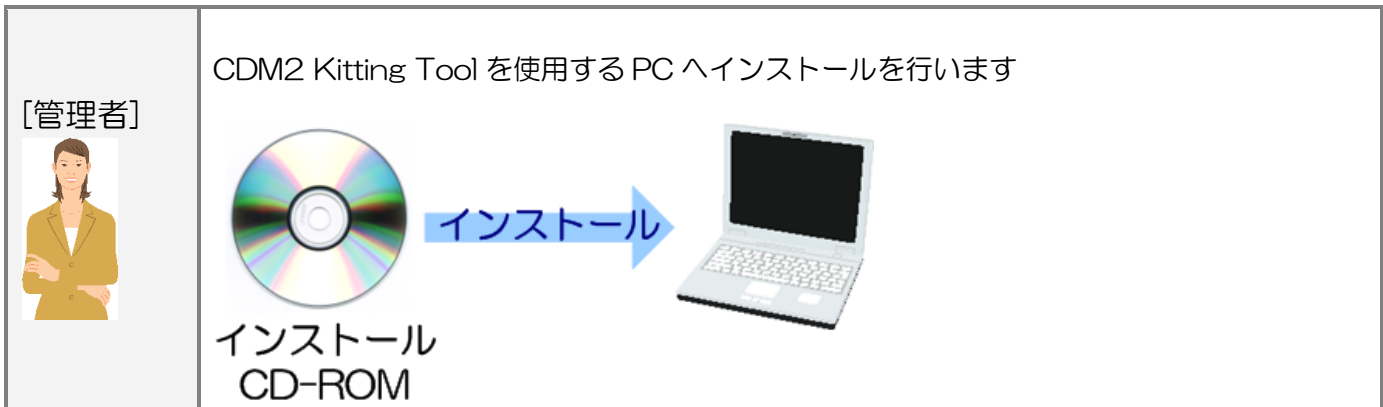
## 製品仕様

対応 USB I/F	USB3.0/USB 2.0
対応動作環境	PC/AT 互換品 Pentium 4 1GHz 以上の CPU を搭載した PC USB インターフェイスを標準搭載した PC USB Mass Storage Class ドライバ、CD-ROM ドライバ搭載 PC メモリ 2GB 以上を搭載した PC
対応 OS	Windows 7 with SP1 日本語版/英語版
対応ユーザアカウント	コンピュータの管理者 (Administrator) ※制限ユーザには対応していません
対応デバイス	CD Memory2 (USB3.0 版) CD Memory2 (USB2.0 版)



## 4 セットアップから運用開始までの流れ

### <セットアップ>



### <運用>





## 5 ご使用方法

本章では、本ソフトウェアの使用方法などを説明しております。

### 5-1 :ご使用にあたって

#### ■USB デバイスの取り外し

・パソコンの電源が入った状態で、対象製品をパソコンから取り外す際には、タスクトレイ（通知領域）上で、「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってください。無理に取り外しますと、ファイルが消失を行ったり、故障の原因になります。消失・破損したデータに関しては、当社は一切の責任を負いません。  
また正しい向きでまっすぐ抜き差ししてください。

#### ■複数デバイスの利用について

本ソフトウェアは、USB デバイスをパソコンに一台接続した時のみ有効です。複数台の接続には対応しておりません。

#### ■デバイス認識について

本ソフトウェアを使用するためには OS がデバイスを認識している必要があります。デバイスが PC に接続されていても、OS がデバイスを認識していない場合、本ソフトウェアはデバイスを認識することができません。以下の状態で発生する可能性があります。その場合、使用できない場合があります。

- ・電源 ON/OFF 直後
- ・再起動
- ・ログイン、ログオフ、ユーザー切り替え直後
- ・スタンバイ、休止状態、スリープ直後、及びスタンバイ、休止状態、スリープからの復帰直後
- ・USB デバイスを PC へ接続した直後

#### ■ドライブ認識について

本ソフトウェアは USB デバイスを OS 認識が終了するまで使用することができません。

特に一度も USB デバイスを接続していないホスト(USB ポート)※1 へ接続する場合、初回ドライバインストールが発生するためデバイスの認識に時間が掛かります。またドライバインストールが完了するまでに OS によりデバイスの認識可、認識不可状態が交互に発生し不安定な状態になります。CD-ROM ドライブの 2 度のオートラン、オートランの途中で CD ドライブが一度取り外されオートランが中断する等の症状が発生します。

この症状が発生することを考慮し、本ソフトウェアをご使用ください。

※1：USB デバイスの USB シリアルが異なるデバイスを接続すると、再度初期ドライバインストールが発生します。

同シリアル番号であっても、一度も接続していないポートに接続すると再度初期ドライバインストールが発生します。

#### ■セキュリティソフトがインストールされている PC での動作について

セキュリティソフトがインストールされている PC では本ソフトウェアが正常に動作しない場合があります。セキュリティソフトが本ソフトウェアの動作制限、USB へのアクセス制限を行っている場合があります。

#### ■OS やソフトウェアによってデバイスへのアクセスが制限されている場合の動作について

OS やソフトウェアによって USB デバイスへのアクセスが制限(書き込み制限等)されている場合、本ソフトウェアもデバイスへのアクセス制限が掛かり、エラーとなる場合があります。

例：Windows7 のグループポリシー設定で「リムーバブルディスク：書き込みアクセスの拒否」を有効かつ、「CD 及び DVD：書き込みアクセスの拒否」を有効に設定した場合

## 5-2 : CDM2 Kitting Tool のインストール

CDM2 Kitting Tool CD-ROM の[CDM2\_Kitting\_Tool]内にインストーラファイル:setup.exe があります。setup.exe を実行し、インストーラに従い PC へ CDM2 Kitting Tool をインストールしてください。  
インストール途中にシリアル番号入力画面が表示されます。同封のシリアル番号用紙に記載されている 12 桁のシリアル番号を入力してください。

## 5-3 : CD Memory2 へ書き込む ISO/UDF ファイルの用意

CD Memory2 へは ISO9660 ファイル、UDF ファイルを書き込むことができます。  
CDM2 Kitting Tool には ISO9660 ファイル、UDF ファイルを作成する機能はありません。  
[市販のライティングソフトウェア等で ISO9660 ファイル、UDF ファイルの作成をお願い致します。](#)

作成した ISO9660 ファイル、UDF ファイルは CDM2KittingTool.exe と同じフォルダへ保存してください。

## 5-4 : CDM2 Kitting Tool 用設定ファイル作成

CDM2 Kitting Toolを使用する前に、各種設定を行う必要があります。

1：インストール後、デスクトップにできたCDM2KT\_SettingFileフォルダのショートカットをクリックしてください。

2：フォルダ内に標準でCDMemory2\_Setting.iniファイルがあります。このファイルが設定ファイルになります。

設定ファイルのファイル名は変更可能です。複数の設定を作成する場合、ファイル名を変更して管理をしてください。

3：CDMemory2\_Setting.iniファイルを開いてください。標準では以下が記載されています。

設定内容をご確認頂き設定し、ファイルを保存してください。

[Descriptor]

IsChangeDescriptor=0

VendorName=HAGIWARA

ProductName=CD Memory2

[Media]

ISOFilePath=CDM2.iso

CDMode=1

IsEnableCompareData=0

IsEnableWriteOnce=0

設定内容

項目	内容	初期値
IsChangeDescriptor	USB VendorNameとUSB Product Nameの変更可否を設定します。変更する場合は設定ファイル内の[VendorName],[ProductName]の値を書き込みます。 0:USB VendorNameとUSB Product Nameを変更しない。 ※現状のUSBメモリ内の値を保持します。 1:USB VendorNameとUSB Product Nameを変更する。	IsChangeDescriptor=0
VendorName	CD Memory2へ設定するUSB Vendor Nameを決定する項目です。 IsChangeDescriptor=1の時、設定したVendorNameがCD Memory2へ書き込まれます。 通常VendorNameには会社名を設定してください。 VendorNameは半角英数字で1～8文字以内で設定してください。	VendorName=HAGIWARA
ProductName	CD Memory2へ設定するUSB Product Nameを決定する項目です。 IsChangeDescriptor=1の時、設定したProductNameがCD Memory2へ書き込まれます。 通常ProductNameには製品名や製品型番を設定してください。 ProductNameは半角英数字で1～16文字以内で設定してください。	ProductName= CD Memory2

ISOFilePath	<p>USBメモリのCD-ROM領域へ書き込むISO/UDFファイルを設定します。</p> <p>ファイルはKittingToolと同じフォルダに保存する必要があります。</p>	ISOFilePath=cdm2.iso
CDMode	<p>CD-ROM 領域へのデータ書き込みモードを設定します。</p> <p>USB メモリの CD-ROM 領域へ ISO/UDF ファイルを書き込む設定をします。</p> <p><b>0：CD-ROM 領域モード 0</b></p> <p>内容：CD Memory2 の CD-ROM 領域へ何も書き込みを行いません。CD-ROM 領域の状態を保持します。</p> <p><b>1：CD-ROM 領域モード 1</b></p> <p>内容：設定ファイルの[ISOFilePath]で指定された ISO/UDF ファイルを CD-ROM 領域へ書き込みます。</p>	CDMode=1
IsEnableCompareData	<p>USBメモリのCD-ROM領域へISO/UDFファイル書き込み後、USBメモリへ正しくデータが書き込まれているかデータ比較をします。</p> <p>0:ISO/UDFファイル書き込み後、データ比較を実施しない。</p> <p>※書き込み処理時間を短縮したい場合にご使用ください。</p> <p>1:ISO/UDFファイル書き込み後、データ比較を実施する。</p>	IsEnableCompareData=1
IsEnableWriteOnce	<p>CDMemory2は弊社書き込みTOOL (CDM2 Writer/CDM2 Kitting Tool)によって何度でもCD-ROM領域のデータ更新をすることができます。</p> <p>本設定ではCDMemory2をデータ更新できないようにすることができます。</p> <p>一度書き込み不可設定にすると、2度とデータ更新ができなくなるのでご注意ください。</p> <p>0:USBメモリをISO/UDFファイル書き込みできないようにしない。</p> <p>何度でも書き込みができます。</p> <p>1:USBメモリをISO/UDFファイル書き込みできないようにする。</p> <p><b>注意：2度と書き込みができません。設置後、弊社でも再度書き込みを出来るようにすることはできません。</b></p>	IsEnableWriteOnce=0

## 5-5 : CDM2 Kitting Tool の使用

1 : CDM2 Kitting Tool(CDM2KittingTool.exe) を実行してください。CDM2 Kitting Toolが起動します。



CDM2KittingT  
ool.exe

### ■メイン画面

CDMemory2 Kitting Tool - Ver.1.0.0.22

1[ドライブ:Rom=E] [USBシリアル番号:98005B9F9E410B04] 書き込み終了。 正常に終了しました。	9
2[ドライブ:Rom=F] [USBシリアル番号:98005B9FA1410B07] 書き込み終了。 正常に終了しました。	10
3[ドライブ:Rom=G] [USBシリアル番号:98005B9F9E410B06] 書き込み終了。 正常に終了しました。	11
4[ドライブ:Rom=H] [USBシリアル番号:98005B9F9E410B05] 書き込み終了。 正常に終了しました。	12
5	13
6	14
7	15
8	16

処理情報  
開始日時: 2016/09/23 08:44:56  
終了日時: 2016/09/23 08:47:51  
経過時間: 0時 2分 55秒(175秒)  
処理時間: 0時 2分 55秒(175秒)

設定ファイル名

LOT NO

予定数量

着工数

成功数

失敗数

設定情報

ディスクリプタ変更:無

CD書き込みモード:1  
CDデータ書き込み:有  
ファイル:cdm2.iso

書き込みデータ比較:有

書き込み禁止:無効

初期化後に書き込み:無

表示更新

書き込み

終了 生産設定

## ■メイン画面説明

No	項目	内容
1	USBメモリ ステータス	<p>各USBメモリの実行状況、簡易情報を表示します。</p> <div style="background-color: yellow; padding: 5px; border: 1px solid black;"> <p>1[ドライブ:Rom=S] [USBシリアル番号:98004C9D2EF7BF06] CDROM領域データ書き込み中.....</p> </div> <p>[情報]</p> <p><b>Rom</b>：各USBメモリのCD-ROMドライブに割り当てられているドライブレターを表示します。例：Rom=F</p> <p><b>USBシリアル番号</b>：各USBメモリのUSBシリアル番号を表示します。例：1234567890ABCDEF</p> <p><b>進行状況</b>：USBメモリへの処理進行状況を表示します。例：CD-ROMデータ書き込み中… など</p> <p>[背景色]</p> <p>白色：待機中</p> <p>黄色：処理中</p> <p>緑色：処理成功</p> <p>赤色：処理失敗</p>
2	設定登録	設定登録画面への移動ボタンです。USBメモリへ処理するには設定登録をする必要があります。
3	実行状況	<p>データ書き込みの状況を表示します。</p> <p><b>開始日時</b>：データ書き込みの開始時間を表示します。</p> <p><b>終了日時</b>：データ書き込みの終了時間を表示します。</p> <p><b>経過時間</b>：データ書き込みの経過時間を表示します。</p> <p><b>処理時間</b>：書き込みに掛かった時間を表示します。</p> <p><b>設定ファイル名</b>：現在設定登録している設定ファイル名を表示します。</p> <p><b>LOT No</b>：設定登録でお客様が設定した LOT No が表示されます。</p> <p><b>予定数量</b>：処理を実施する予定の USB メモリ数を表示します。</p> <p><b>着工数</b>：処理を実施した USB メモリ数を表示します</p> <p><b>成功数</b>：処理に成功した USB メモリ数を表示します。</p> <p><b>失敗数</b>：処理に失敗した USB メモリ数を表示します。</p>
4	設定情報	<p>現在の設定を表示します。表示情報はお客様が登録した設定内容になります。</p> <p><b>ディスクリプタ変更(有/無)</b>：USB VendorName/ProductNameの変更有無が表示されます。</p> <p><b>USB VendorName</b>：ディスクリプタ変更が[有]の場合、変更するUSB VendorNameが表示されます</p> <p><b>USB ProductName</b>：ディスクリプタ変更が[有]の場合、変更するUSB ProductNameが表示されます。</p> <p><b>CDデータ書き込みモード</b>：CD-ROM領域への書き込みモードが表示されます。</p> <p><b>CDデータ書き込み(有/無)</b>：CDデータ書き込みの有無が表示されます。</p> <p><b>ファイル</b>：書き込むISO/UDFファイルのファイル名が表示されます。</p> <p><b>書き込みデータ比較(有/無)</b>：書き込み後のデータ比較有無が表示されます。</p> <p><b>書き込み禁止(有効/無効)</b>：USBメモリへの再書き込み禁止設定有無が表示されます。</p>
5	表示更新	USBメモリの認識状態（デバイスステータス）を更新します。USBメモリの状態を更新した場合にご使用ください。
6	書き込み	USBメモリへISO/UDFファイル、各種設定書き込みを開始します。
7	終了	本ソフトウェアを終了します。

2：[設定登録]ボタンを押してください。CDM2 Kitting Tool の設定を実施します。

生産設定

設定ファイル名

A001

LOT No.

Lot20160918

予定数量

200

登録

生産設定ファイル保存

生産設定ファイル読込

キャンセル

設定登録内容

設定ファイル名: 設定ファイル名(拡張子抜き)を入力してください。入力された設定ファイルに基づき書き込みが実施されます。

LOT No. : お客様が管理するためのロット 番号になります。ログにこのロット 番号が記載されます。

予定数量: データ書き込みを実施する、USBメモリの 数量を入力してください。  
予定数量に達した場合、USBメモリへの 書き込みができなくなります。

設定/ボタン項目内容

項目	内容	設定例
設定ファイル名※	設定ファイルを入力します。5-4で作成した設定ファイルのファイル名を入力してください。  拡張子(.ini)は必要ありません。設定ファイルがCDMemory2.iniの場合 CDMemory2と入力。	CDM2_Kitting_Tool_Setting
Lot No.※	ロットナンバーを入力してください。  ログファイル作成時にログファイル内に入力したLot Noが記載されます。  ログを管理する際に使用してください。	A002
予定数量	書き込みを実施するCD Memory2の台数を入力してください。  入力台数分書き込みを終了するとCDM2 Kitting Toolが終了します。	150
生産設定ファイル保存 ボタン※	設定項目の設定ファイル名/LotNo/予定数量をファイル(生産設定ファイル)保存します。	-
生産設定ファイル読込 ボタン※	生産設定ファイルを読み込み、設定ファイル名、LotNo、予定数量を反映させます。	-
登録ボタン	設定ファイル名、LotNo、予定数量を登録し、メイン画面が移動します。	-

※設定ファイル名、LotNo、生産設定ファイル名には半角英数字のみをご使用ください。

上記の内容を確認及び入力後、[登録]ボタンを押してください。



3：CD Memory2を1～16台、PCへ接続してください。全CD Memory2のCD-ROMドライブがマイコンピュータに認識終了していることを確認してください。

※[表示更新]ボタンを押すと、情報更新されますのでご使用ください。

※CD Memory2内のお客様のファイル・ソフトウェアが起動した場合、ファイル・ソフトウェアを終了してください。



4：[書き込み]ボタンを押してください。CD Memory2への書き込みが開始されます。

5：処理終了後、各USBメモリステータスに結果が表示されます。結果確認後USBメモリを取り外してください。

1[ドライブ:Rom=S]  
[USBシリアル番号:98004C9D2EF7BF06]

書き込み終了。  
正常に終了しました。

緑色：処理成功

赤色：処理失敗

## 6 ログについて

### 6-1：ログファイル/フォルダ概要

CDMemory2 Kitting Tool でデバイスへ書き込みを実施すると、ログが保存されます。

ログは USB メモリの管理にご使用ください。

#### ■ログ構成

項目	内容
ログ保存先	実行ファイル{CDM2KittingTool.exe}と同じディレクトリに作成される「LOG」フォルダの下に保存されます。
ログフォルダ構成	LOGフォルダの下にロット毎にフォルダが作成されます。そのロットフォルダ内にログファイルが保存されます。ロットフォルダ名には設定登録で入力したLotNoが使用されます。 またロット登録を同じ番号で下場合、LotNo_00001, LotNO_00002, LotNO_00003の様に番号が自動で付加されます。
ログファイル	ログファイルは2種類保存されます。 <b>■結果ログ</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ファイル名：Input_設定ファイル名.csv</li><li>・内容：実行した結果(予定数量や成功数)が保存されます。</li></ul> ※設定ファイル名は設定登録で入力した設定ファイル名が使用されます。  <b>■デバイス結果ログ</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ファイル名ルール：QC_設定ファイル名.csv</li><li>・内容：各USBメモリの実行結果が保存されます。</li></ul> ※設定ファイル名は設定登録で入力した設定ファイル名が使用されます。

構成例

¥LOG¥

```
├─A141029_00001
|   Input_CDM2_Kitting_Tool_Setting.csv
|   QC_CDM2_Kitting_Tool_Setting.csv
|
├─A141030_00001
|   Input_CDM2_Kitting_Tool_Setting.csv
|   QC_CDM2_Kitting_Tool_Setting.csv
|
└─A141030_00002
    Input_CDM2_Kitting_Tool_Setting.csv
    QC_CDM2_Kitting_Tool_Setting.csv
```

## 6-2: ログファイル仕様

### ■結果ログ

実行した結果(予定数量や成功数)が保存されます。

項目	内容
設定ファイル名	設定登録で入力した設定ファイル名が保存されます。
LOT NO	設定登録で入力したLOT NOが保存されます。
予定数量	予定数量が保存されます。
着工数	着工数結果が保存されます。
成功数	成功数結果が保存されます。
失敗数	失敗数結果が保存されます。

### ■デバイス結果ログ

各 USB メモリの実行結果が保存されます。

項目	内容
No	実行数が記載されます。 例：1
結果	実行結果が記載されます。例：正常に終了しました。
実行時刻	検査時刻が記載されます。 例：2014/10/07/14:57:30
製品名	CDMemory2固定
USBシリアル	USBメモリのUSBシリアル嵌合が記載されます。例：98004B427B084510
VID	USBメモリのUSB VIDが記載されます。例：0693
PID	USBメモリのUSB PIDシリアル嵌合が記載されます。例：0061
CD書き込みモード	CD-ROM領域へのデータ書き込みモードが記載されます。 例：1
CD-ROM領域書き込みファイル	USBメモリへ書き込んだISO/UDFファイルが記載されます。例：cdm2.iso
IsEnableWriteOnce設定	設定ファイルのIsEnableWriteOnce設定項目内容が記載されます。 例：1
IsChangeDescriptor設定	設定ファイルのIsChangeDescriptor設定項目内容が記載されます。 例：0
IsEnableCompareData設定	設定ファイルのIsEnableCompareData設定項目内容が記載されます。 例：1



## お問い合わせ窓口

ご連絡先		受付
サポートセンター※	TEL：0570-080-900	9:00～19:00（年中無休）

※内容を正確に把握するため、通話を録音させていただいております。個人情報に関する保護方針はホームページをご参照ください。ハギワラソリューションズ株式会社ホームページ：<http://www.hagisol.co.jp>

### ナビダイヤルについて

弊社ではサービスサポートお問い合わせ窓口ナビダイヤルを採用しています。

全国の固定電話から1分間10円の通話料（発信者のご負担）でご利用いただける「全国统一番号」で、NTTコミュニケーションズ（株）が提供するサービスのひとつです。

ダイヤルQ2などの有料サービスではなく、ナビダイヤル通話料から弊社が利益を得るシステムではありません。

※携帯電話からは20秒10円の通話料でご利用いただけます。※PHS・一部のIP電話からはご利用いただけません。

※お待ちいただいている間も通話料がかかりますので、混雑時はしばらくたってからおかけ直してください。

- ◆掲載されている商品の仕様・外観、およびサービス内容等については、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ◆Microsoft Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ◆その他掲載されている会社名・商品名等は、一般に各社の商標又は登録商標です。なお、本文中には®および ™ マークは明記してありません。
- ◆本ドキュメント内容は、2016年9月時点のものです。今後、当該内容は予告なく変更される場合があります。

CDM2 Kitting Tool  
マニュアル  
2016年9月